



2026年2月10日

各 位

会社名 宮越ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮 越 邦 正
(コード番号 6620 プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 板 倉 啓 太
(TEL 03-3298-7111)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第3四半期連結会計期間において、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行うとともに、2026年3月期の通期連結業績予想の修正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社 深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」という。）が推進する「ワールド・イノベーション・センター」プロジェクトが、実質的な開発許可を取得（2025年8月8日開示）し、福田区政府から既存建物の解体許可が下りたことにより、当社は、2026年1月7日開催の取締役会において、皇冠電子が保有する建物及び構築物等の取り壊しを決議いたしました（2026年1月7日開示）。これに並行して、順次進めておりましたテナントの退去が想定よりも早期に完了したことから、2026年3月期第3四半期連結会計期間において、皇冠電子が保有する固定資産（主に土地使用権）について、減損の兆候があると判断し、帳簿価額の全額を減額し、当該減少額を減損損失（834百万円）として特別損失に計上いたしました。さらに、当該建物及び構築物等の取り壊しに係る費用として解体撤去引当金繰入額（62百万円）及び賃貸管理部門における社員の人員削減に伴う割増退職金（28百万円）を特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2026年3月期第3四半期連結会計期間において、繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等調整額（170百万円）を計上いたしました。

3. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	630	10	240	170	4.25
今回修正予想 (B)	386	△320	70	△1,000	△24.99
増減額 (B-A)	△244	△330	△170	△1,170	△29.24
増減率 (%)	△38.7	—	△70.8	—	—
(ご参考)前期連結実績 2025年3月期通期	1,030	284	552	365	9.14

(2) 修正の理由

営業収益につきましては、プロジェクトの進行と共に順次進めておりましたテナントの退去が想定よりも早期に完了し、2026年3月期第3四半期連結会計期間末において全テナントが退去したことから、前回予想を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、営業収益の減少要因に加え、人件費等の経費増加により、前回予想を下回る見通しとなりました。

経常利益につきましては、期中において貸付金利の見直しを行ったため営業外収益が増加する見込みではあるものの、営業利益の減少要因により、前回予想を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益の減少要因に加え、2026年3月期第3四半期連結会計期間において、上記1.「特別損失の計上について」及び上記2.「繰延税金資産の取崩しについて」の要因により、前回予想を下回る見通しとなりました。

※上記の予想数値は、現時点において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上